

土砂災害に対する取り組みの実践～まち歩きをもとに検討会を実施～

新庄河川事務所では、土砂災害の発生を未然に防止し、地域住民の生命、財産を守ると共に、地域活動の維持・発展に貢献するため、総合的な砂防事業に取り組んでいます。

このたび、昨今の被災状況等に鑑みたソフト対策の一環として、新庄河川事務所と自治体が連携し、土砂災害の前兆現象を速やかに通報頂くと共に、各種警戒情報等を踏まえて、地域の住民みずからが自主的な対応等を速やかに出来るよう、「まるごと里ごと土砂防災（仮称）※1」の試行的な取り組みを行っています。

今回は、西川町沼山地区（沼山第2町内会）において、先に実施した「まち歩き」をもとに「DIG（図上検討）※2（別添1参照）」を実施します。

当初12月に実施する予定でしたが、大雪により延期したため、今回改めて実施するものです。

■実施内容

DIG（図上検討）（まち歩きは、平成26年11月28日（金）実施済み（別添2参照））

- ・日時：平成27年1月15日（木）19：00－20：00
- ・実施場所：西川町田代公会堂（西川町大字沼山字田代172）

■参加人員 西川町沼山第2町内会 及び 行政側 約15名程度

※1 国土交通省では、平成18年7月から生活空間である市街地に水災にかかる各種情報を洪水関連標識として表示する「まるごとまちごとハザードマップ」（別添1参照）を推進しています。これを基に新庄河川事務所では、砂防版として「まるごと里ごと土砂防災（仮称）」と呼び、避難誘導標識の他に手作りの避難経路図の作成に取り組んでいくものです。

<発表記者会：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会>

<問い合わせ先>			
国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所			
●副所長（砂防担当）	さとう かつみ 佐藤 勝美	TEL 0233(22)0251	（代表）
●寒河江川砂防出張所長	おおいけ けんいち 大池 賢一	TEL 0237(74)2366	
西川町役場			
●総務課 危機管理係長	おおいずみ たけし 大泉 健	TEL 0237(74)4404	

【実施項目】

- ・趣旨説明会
- ・各種関連資料の整理・確認(土砂災害、洪水HM等)
- ・DIG(図上検討)等、まち歩き(現地確認)
- ・避難経路等作成、標識等設置



避難誘導標識(戸沢村役場前)の例

【スケジュール(予定)】

済)	平成26年11月19日(水)	趣旨説明会
済)	11月28日(金)	まち歩き(危険箇所、避難所、避難経路、標識設置箇所)
1)	平成27年1月15日(木)	検討会(1)(DIG) ※2
2)	2月上旬頃まで	検討会(2)(避難経路、標識設置箇所等の決定)
3)	3月下旬頃まで	標識等設置
4)	4月以降	訓練・活用・評価

【今回の実施内容(予定)】

■DIG(図上検討)※2

- ・地図を広げる
- ・まち歩きでチェックした場所にシール、写真を貼り付ける
- ・「避難時注意」などと書いたメモ用紙を貼り付ける

※2 DIG(ディグ Disaster(災害) Imagination(想像力) Game(ゲーム))とは、一般市民が独力でも企画・運営できる簡易型の防災図上訓練ノウハウです。

<参考>

まるごとまちごとハザードマップ (河川版)

「まるごとまちごとハザードマップ」とは、近年被災経験のある住民が少なくなり、自分の住んでいる地域の過去の水害や洪水の危険度を知らない人が多くなっています。

そこで、生活空間である“まちなか”に洪水が発生した時の水位や避難所までの案内標識を設置することにより、自らが生活する地域の洪水の危険性を実感するとともに、発災時に安全かつスムーズな避難行動を支援し被害を最小限にとどめる事を目的としています。

又、地域の洪水ハザードマップの更なる普及浸透及び危機意識の醸成と洪水時の避難場所等の認知度向上を図ることも目的としています。



【まち歩き実施状況】

■日 時 平成26年11月28日(金) 13時半～16時

■場 所 西川町田代公会堂(集会所)ほか

■参加者 18名(西川町沼山第2町内会住民及び行政側)

■まち歩きのルート 久保入間地区 ～ 田代公会堂(一次集合場所)
 ～ 田代地区 ～ 工藤製材所跡(一次集合場所)
 ～ 沼山地区 ～ 沼山集会センター(二次避難場所)

■主な内容

- ・避難場所になる箇所や土砂災害警戒区域指定(予定)箇所などを確認
- ・過去の土砂災害での被害状況を聞き取り
- ・危険箇所を見つけたなら地図に印を付けて写真撮影
- ・避難誘導の標識設置最適箇所の選定

